

全老連創立50周年記念全国老人クラブ大会 式辞

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、本日ここに全老連創立50周年記念全国老人クラブ大会を開催できますことは、私ども老人クラブ関係者にとりまして誠に光栄の至りであります。

また内閣総理大臣、衆参両院議長はじめ多数の御来賓の御列席をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

本日、創立50周年の記念すべきこの大会で、栄えある表彰を受けられる皆様の長年のご努力とご功績に対し、心よりの敬意を表するところであります。

全国老人クラブ連合会は、高齢者が自らの手で福祉の向上をめざす機運が高まるなか、全国各地において十年余に及ぶ自発的な組織づくりの結果、昭和37年に全国組織として結成されました。

以来半世紀にわたり、仲間づくりと老人福祉の増進を目標に活動の歴史を刻んでまいりました。このような老人クラブ活動にご尽力された先人達に皆様とともに感謝の誠を捧げたいと存じます。

いま、全国の老人クラブでは、健康づくり活動やお互いに助け合う友愛活動に励んでおりますが、このことは介護予防活動そのものであり、健やかに長寿を全うしていくことにつながるものであります。

また、東日本大震災では、全国から高齢者ならではの物心両面にわたる支援によって、被災地の方々を励まし、心に温かな灯をともしていただきました。私たちは、今後もそれぞれの地域で、「活力ある地域づくり」に貢献できるよう努めてまいりたいと存じます。

本年、100歳以上の高齢者が全国で5万人を超えることとなりました。我々の老人クラブ活動を一層拡大し、活発なものとしていく事が、本格化する超高齢社会が重苦しいものでなく、明るく豊かな長寿社会を創り上げていくことであると信じます。

創立50周年を新たな門出として、なお一層努力してまいろうではありませんか。

天皇皇后両陛下のご健康と弥栄（いやさか）をお祈り申し上げ、そして、御列席の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、ご挨拶といたします。

平成24年10月4日

財団法人全国老人クラブ連合会
会長 齋藤 十郎